

サルやイノシシにであったら

ねん 年 くみ 組 なまえ 名前

サルもイノシシも、ふだん(人間を気にしていない時)は、人間をおそってくることはありません。

みなさんも、サルやイノシシのことをかまったり、こうふんさせたりしないようにしましょう。

ふだんサルやイノシシにであった時に気をつけること

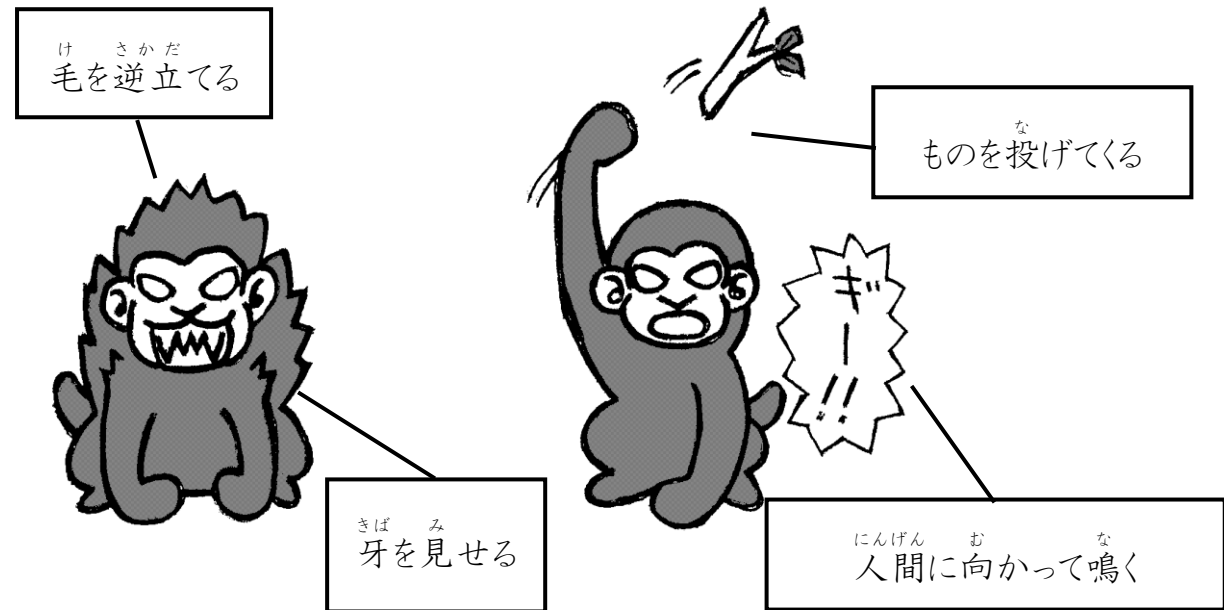
- ① サルやイノシシのいるまわりで大声を出さない。
- ② サルやイノシシの目を見ない。
- ③ 近づいたり、おいかけてたりしない。
- ④ サルやイノシシから見えるところで急にうごかない。
- ⑤ 走ってにげない。
- ⑥ ものを投げない。
- ⑦ えさをあげない。

※ サルやイノシシが通学路上にいて、どいてくれない時は、

おとな ひと
大人の人においはらってもらいましょう。

サルやイノシシがこうふんしていたり、いかく(人間をこわがらせようとする^{にんげん}こと)をしている^{とき}時は、
すぐに身^みの安全^{あんぜん}を守る^{まも}行動^{こうどう}をとりましょう。

サルがこうふんしている^{とき}時のとくちよう



サルがこうふんしている^{とき}時にすべきこと

①サル^めの目^みを見ない。

②大^{おお}声^{ごえ}を出^ださない。

③口^{くち}を閉^とじて歯^はを見^みせない。

④背^せ中^{なか}を見^みせず^みにゆ^あっくり後^{あと}ずさり^さりする。

⑤サルと少^{すこ}しでも遠^{とお}くまではな^なれるか、ブ^くロック^{ろく}べい^まやとま^まっている車^{くるま}などの
しょうがい^{うし}ぶつ^{うし}の^{うし}後^{あと}ろ^ろにか^かくれる。

⑥大^{おとな}人^{ひと}の^{たす}人^{ひと}に助^{たす}けて^{たす}もら^{もら}う。(お^{うち}家^{なか}の中^{なか}や車^{くるま}の中^{なか}に入^いれて^いもら^{もら}って、お^いは^はら^らって^らもら^{もら}う。)

とき
イノシシがこうふんしている時のとくちょう

きば
牙をならす

け さかだ
毛を逆立てる

カチ
カチ

あと まえあし
後ずさりしながら前足で
じめん
地面をける(「とっしんするぞ」
というポーズ)



いき
息をあげたり、
にんげん な
人間におかて鳴く

はし まわ
ぐるぐる走り回る
はし まわ
うろうろ走り回る

とき
イノシシがこうふんしている時にすべきこと

- ① イノシシのめみを見ない。
- ② おおごえだ 大声を出さない。
- ③ せなか み 背中を見せず、あと 後ずさりする。
- ④ イノシシと少しでもとお 遠くまではなれるか、ブロックべいやとまっているくるまなどのしょうがいぶつ、うし 後ろにかくれる。
- ⑤ おとな ひと たす 大人の人に助けてもらう。(お家のうち なか 車の中に入れてもらう。)

ふだんからなるべくみんなで行動^{こうどう}して、サルやイノシシに一人^{ひとり}であうことがないようにしましょう。

このプリントをお家^{うち}の人^{ひと}に見^みてもらって、助^{たす}けてもら^{とき}う時^{おとな}に大人^{ひと}の人^{ひと}はどうすればいいのか、知^しっておいてもらいましょう。

----- 大人の方へ -----

サルやイノシシが通学路などにいる場合、お子さんに危害が及ばないように、学校と協力して「追い払い」をお願いします。追い払いの方法として、なるべく大勢の人が姿を見せながら大きな音を出す(大声を出す、金属製品を叩き合わせる、ロケット花火や爆竹などを鳴らす等)ことが有効です。サル・イノシシともに自分より大きな生き物や大きな音を怖がります。

サルは一度のジャンプで最大5メートル横に跳ぶといわれています。追い払う際、安全な距離を確保するか、サルやイノシシと自身の間に障害物がある状況で行なってください。

特に、サルが子どもを威嚇した場合は、即座に、大勢の大人が追い払いを行ない、子どもを威嚇すると手痛い反撃に遭うということをサルに覚えこませてください。

ただし、イノシシが興奮している場合には、無理に追い払いをせず、子どもと自身の安全を確保してイノシシが立ち去るのを待ってください。イノシシが興奮しているということは怖がっているということなので、追い払いをせずとも「ここで怖い思いをした」と覚え、以降は寄り付きづらくなります。

実際にサルやイノシシが出没した際は、その時の具体的な状況に応じて効果的な追い払い方法をご提案できますので、直接、または学校を通じて君津市農政課(0439-56-1312)までご相談ください。